

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年 6月15日
北信地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	4	課題区分	C			
実施機関	北信地域振興局		担当課	所属	企画振興課(林務課、北信保健福祉事務所)	
事業名	雪国の生活を支える公共交通・医療等の生活基盤の整備			電話	0269-23-0201	
			E-mail	hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	利便性の高い地域公共交通の検討や野生鳥獣被害対策の実施等により、生活基盤の維持・確保を目指す。				
	現状と課題	<p><公共交通に関する検討></p> <ul style="list-style-type: none">公共交通利用者の減少により、各市町村では、デマンドバス等の運行を行っており、市町村域を越えた広域的、効率的な対応が求められている。 <p><野生鳥獣に負けない地域づくり></p> <ul style="list-style-type: none">人口減少や高齢化等により手入れがされない山と里の境界線が曖昧になり、野生鳥獣による農林業への被害、人身被害への不安が深刻収穫や伐採がされない柿の木の放置がツキノワグマの誘引に繋がっている。 <p><入退院医療・介護連携の推進></p> <ul style="list-style-type: none">病院と居宅介護支援事業所相互の情報共有を着実にを行うため、「北信地域入退院医・介護連携ルール」を決定し平成31年3月に運用を開始した。この仕組みの周知と活用の促進を図る必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	<p><公共交通に関する検討></p> <ul style="list-style-type: none">管内6市町村による地域公共交通網形成計画策定に向けた検討会議の継続 <p><野生鳥獣に負けない地域づくり></p> <ul style="list-style-type: none">住民、下高井農林高校生および行政担当者を主な対象とした野生鳥獣の生態を学ぶ学習会の開催により、野生鳥獣の習性や対策の心構え等基礎的知識を習得人家周辺に放置されている渋柿を、下高井農林高校と社会福祉施設利用者等の協働作業(シブガキ応援隊)により収穫、干し柿に加工 <p><入退院医療・介護連携の推進></p> <ul style="list-style-type: none">実務者用としてパンフレットを作成し、医師会、病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、市町村等へ配布し、ルールの活用促進を図る。				
	事業期間	平成31年4月1日		～	令和2年3月31日	
	成果目標 (成果指標)	<公共交通に関する検討> 検討会議の開催 3回 <野生鳥獣に負けない地域づくり> 学習会の開催 2回 防除効果延長100m <入退院医療・介護連携の推進> 連絡会の開催 2回 活用する事業所の割合80%以上				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	北信地域公共交通広域調整検討事業	・地域公共交通に関する検討会の開催	14,081			
	野生鳥獣に負けない集落づくり事業	・野生鳥獣に係る学習会の開催 ・シブガキ応援隊による柿の収穫等	62,985			
	医療・介護連携推進事業	・パンフレット「北信地域入退院医療・介護連携ルール」の作成・配布	187,000			
合計			264,066			

	事業実績	事業の成果	評価
事業実績・成果	<p><北信地域公共交通広域調整検討事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市町村による検討会の開催 [全4回] 市町村地域公共交通会議への参加 個別課題の把握 <p><野生鳥獣に負けない集落づくり事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 高校・地域学習会の開催 [9/18(水)、下高井農林高校、28人参加] 3月に開催予定だった地域学習会は新型コロナウイルスの影響により中止。 シブガキ応援隊の実施 [10/23(水)収穫、31人参加] [10/24(木)加工、35人参加] <p><医療・介護連携推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村・地域包括支援センター担当者会議の開催 [5/16(木)、11/14(木)] 北信地域医療・介護連携関係者連絡会の開催 [6/24(月)、12/25(水)] 「北信地域入退院医療・介護連携ルール」の製本版発行(令和元年12月修正版) [500部] 	<ul style="list-style-type: none"> 中野市及び山ノ内町による網形成計画を作成予定。 飯山市が独自の計画策定に向け研究することとなった。 野生鳥獣の防除対策の住民への学習機会が創出できた。 シブガキ応援隊を通じ、福祉施設利用者と高校生の交流が好評であった。 事例発表や広報等により広く周知することができた。 担当者会議や連絡会の開催により、ルール運用の課題の共有、関係機関の対応の流れが整理され、スムーズな情報共有体制が整備された。 管内6市町村統一の「北信地域在宅医療・介護連携相談窓口運営方針」を策定し、住民、医療・介護関係者への相談支援体制が確立された。 入退院調整ルール運用状況調査結果における活用事業所の割合 北信96.6%、全県89.4% (調査対象:R1.11) 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	<p><北信地域公共交通広域調整検討事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き検討会を開催し、地域交通カルテ(交通政策課作成)の診断結果を踏まえた対応策の検討等をしていく。 <p><野生鳥獣に負けない集落づくり事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵の効果的な設置や不要果樹処理等の実演講習会を実施し、実践できる被害対策を習得する事業内容に発展していく。 シブガキ応援隊は、林福連携事業の関係を構築しつつある段階にあり、将来的に当事業に寄らず活動を継続できるよう、次年度はその準備期間として取り組む。 <p><医療・介護連携推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・介護の連携を更に推進するため、医療関係機関(歯科医師会、薬剤師会)との連携を検討するとともに、連絡会を活用した在宅医療・介護連携推進事業における課題共有及び協議を引き続き行う。 		